

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 英数学館中学・高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☒ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒721-8502
広島県福山市引野町980-1

E-mail hki@eisu-ejs.ac.jp

Website http://www.eisu-ejs.ac.jp/

児童生徒数 男子 126 名 女子 74 名 合計 200 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

「食」という共通テーマを通して、フィールドワークを含んだ問題解決型授業を実施し、問題発見能力や論理的思考力、批判的思考力、コミュニケーション能力を高めることをねらいとした。中高6学年共通の「食」という大テーマにそって、食に関わる学年別のテーマを定め、地元福山の伝統や文化をふまえた上で、世界に目を向ける学習活動を行った。

テーマ学習の内容として、①地域遺産教育(地域の伝統・文化、地域の人々とのコミュニケーションを通して、地域への関心を高め、地域の一員としての誇りを持つ)、②食の安全・健康(食の安全・健康、食品添加物への関心と知識を持つ)、③環境教育(自然環境に目を向けその継承の必要性に気づく)、国際理解(広く世界を知り、相手の文化や価値観の理解を進める。英語を使ったコミュニケーションを行う能力を身につける)、④ESD(福山を中心とした地域の持続可能な発展に貢献する)、という4つの項目を掲げた。

【中学1年】前期は「福山を知ろうー福山探検」というテーマで、福山の自然・歴史・伝統文化・産業などをグループで調査し、パンフレットを作成した。その調査の中で、県立歴史博物館・福山城博物館・福山文学館・鞆の浦へ行った。さらに文化祭で、パンフレットを配布し展示発表をした。後期は「福山の食の魅力を伝えよう」というテーマで、グループ活動によりインターネットや雑誌で調べたことをパンフレットにまとめる作業をした。福山市役所魅力発信課により「うずみご飯」のプロに來校していただき、講義・実習を行った。

【中学2年】前期は「食と健康」というテーマについて調べ学習を行い、プレゼンソフトによる発表会をし、文化祭でポスター展示をした。調査の中で、かも川手延製麺・天野実業の工場を見学した。各グループのテーマとしては「バランスのとれた食事」「健康に悪影響を及ぼす食品」「食生活が乱れたときに起こる病気」「世界の食と健康」などがあった。後期は「食と安全」というテーマで、食品添加物・食中毒について調べ学習を行った。学習の成果を寸劇形式で発表した。

【中学3年】前期は「食と環境」というテーマで調べ学習を行い、㈱エフピコの見学をふまえてリサイクルやごみ処理について学んだ。文化祭でグループごとに展示発表をした。後期は「食の未来」というテーマで、将来的な環境の変化と食生活の変化について予想を立て調べ学習をし、理科の教員に質問をしながら考察を深めた。学習の成果について、グループごとにプレゼンを実施した。

【高校1年】前期は「和食」をテーマに、仮説をたて実習・実験によって検証し、和食の特色を再認識する試みを行った。その中で、外国人教師へのインタビューを行ったり、海外の食文化と比較したりするなど国際的な視点を意識した。後期では次年度のシンガポール研修旅行にむけて、シンガポールの文化・歴史とともに食文化について調べ学習をした。

【高校2年】前期は「捕鯨」というテーマで、グループによる調べ学習を行い、プレゼンソフトを使って発表をした。各グループのテーマとしては「捕鯨の方法」「捕鯨の文化」「捕鯨と反捕鯨の団体」などがあった。

【高校3年】前期は「食糧危機」というテーマで、グループによる調べ学習をした。各グループのテーマとしては「食糧配分の問題」「農業技術の問題ー緑の革命」「食糧危機と環境問題」「食糧危機に対する支援について」などがあった。模造紙にまとめたものをもとにポスターセッションをした。

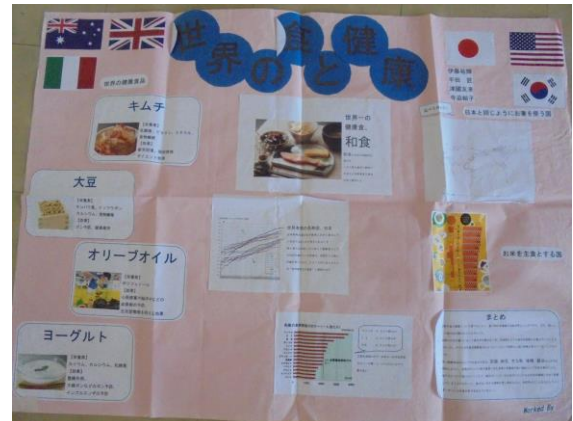
(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

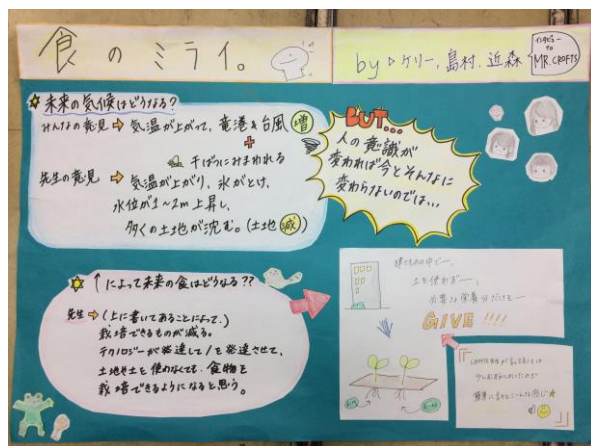
【中学 1 年】



【中学 2 年】

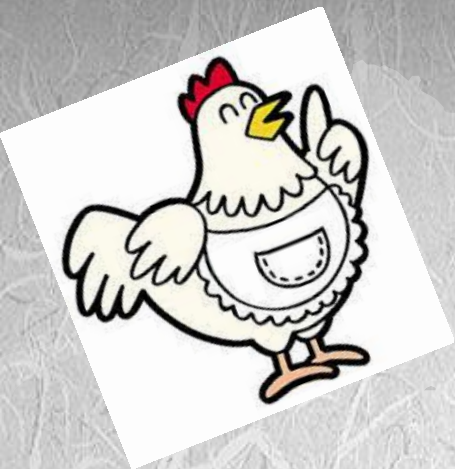


【中学 3 年】



【高校 3 年】





肉 野菜 魚で だし巻き卵を作った結果

10班 10B2

小林 誉周阿 竹井 一騎

立石 蓮 戸田 圭亮 中西 諒

研究の動機

- 一般的なダシ（こんぶ、かつお、にぼし）を使わずに肉 野菜 魚のダシについて知りたい。
- 違う食材を使ったらどのくらい味の差ができるのか知りたい。
- 外国の方はだしについてわかるかを知りたい。



仮説

- 日本人と外国人では味の感じ方に違いがあるのではないか
- 歳の差や性別の違いで味の感じ方は変わるのか
- それぞれ違う食材を使ったら味がかわるのか？

研究方法

- 肉、野菜、魚のダシを使って作っただし巻き卵を実際に作ってみていろんな人に食べてもらい感想を聞く



アンケート結果の報告

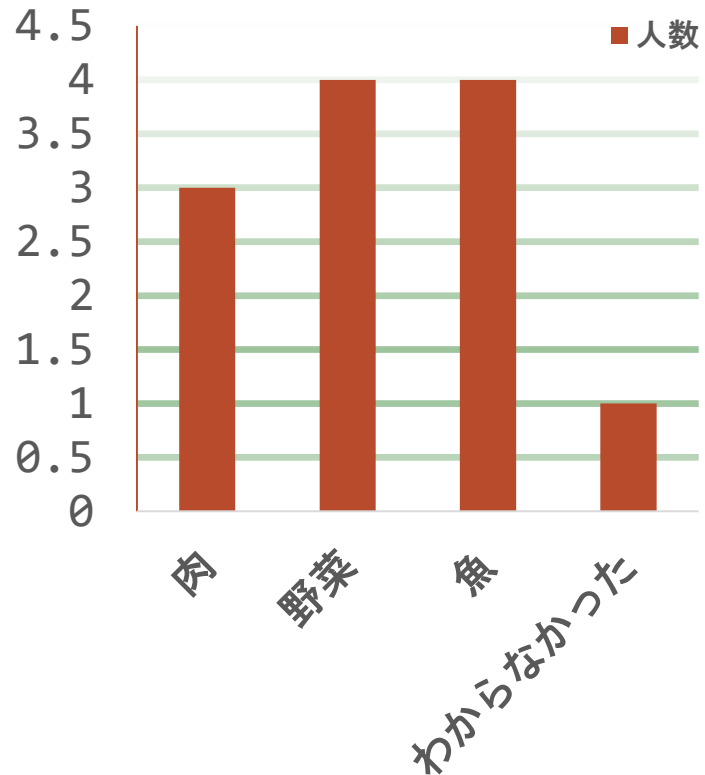
アンケートの対象者（12名）

生徒	6人
日本の先生	5人
外国の先生	1人

結果： どのダシで作った卵焼きが好きですか？

肉	生徒 2人
	外国の先生 1人
魚	生徒 2人
	先生 2人
野菜	生徒 2人
	先生 2人

出汁人気結果



感想

□ 肉の出汁巻き卵を食べた人

「濃くておいしかった」 生徒

「肉は油っぽい」 先生

□ 野菜

「濃くておいしい」 生徒

□ 魚

「肉と野菜は濃かった」 先生

結果からの考察

- 生徒は差がなかったが、先生は野菜、魚が好きな人が多かったので、油が多い肉のダシは苦手なのかも知れない。
- 外国の先生は味はわからないといていたが嫌いな食べ物のだしは分かっていたので分からないなりに感じてはいるのかも知れない。

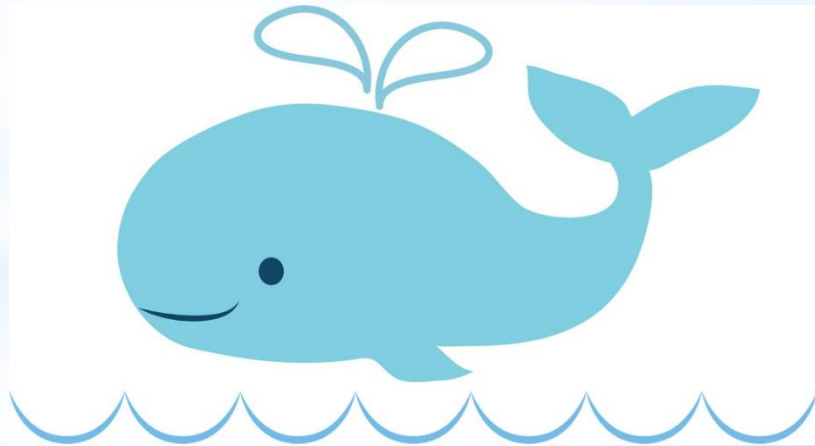
まとめ

- ◆ 肉は一番濃く、油っぽい。洋風になるかも。
- ◆ 魚でだしを取るのは難しい。濃い味が嫌いな人は一番好きかも。
- ◆ 野菜は味がしっかり出ていて濃かった。野菜の種類を変えたらもっとおいしくなるかも？
- ◆ 若い人は魚や野菜などの濃い味が好き。
- ◆ 外国の先生はあまりわからない。
日本人の中にもわからない人がいる。

国際捕鯨委員会/ 反捕鯨団体と日本

国際捕鯨委員会とは？

- * 捕鯨の管理とクジラの保護に責任を持つ国際機関
- * 調整および主催を行う。現在は**99**か国が加盟している。



反捕鯨団体 シーシェパードについて

*シーシェパードとは

海の自然や環境保護のための活動を行っている
国際的な環境保護団体の名を借りたテロリスト。
本部はアメリカのワシントン州フライデーハーバー。



* シーシェパードの手口や内容について

* ポール・ワトソン(幹部メンバー)

1979年7月、ポルトガル当局に逮捕された。

2012年5月13日、正式に国際指名手配された。

つまり、彼は犯罪者ということである。

* 重要人物は、この二人でありどれくらいのメンバーがいるかは、定かではない。

* 行動人数は5、6人。これらが世界各国を巡っているのなら150人くらいいると考えられる。

日本は国際捕鯨委員会に参加しているにもかかわらず、シーシェパードは彼らの動物愛護心でのみ捕鯨国に攻撃している。

だが彼らを養護する声もあるのだ。

彼らと日本側がこれからの未来のために理解し合うことが大切ではないか。

